

長崎被爆 70 年

憲法共同センター「9 の日行動」・新宿駅西口宣伝 炎天下、署名「私も」と列何度も 8・30 国会10万人、全国100万人大行動強調

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター（憲法共同センター）は8月9日、「9 の日行動」を取り組みました。炎天下の新宿駅西口でおこなわれた10時30分から12時までの憲法共同センターと東京憲法共同センター共催の行動には約40人が参加しました。寄せられた署名は約160人。シール投票にも多くの市民が参加しました。1500の宣伝グッズはなくなりました。

署名は「私もさせて」「私にできることは何でもします」という人たちで、署名の列が何度もできました。車椅子に男性を乗せた女性が、「孫が戦争に駆り出されたらたまらない」と語りながら署名。「戦争は若者だけでなく国民全体を、特に弱い者をまず犠牲にする。力を合わせましょう」と呼びかけると、「そのとおりです」とこたえる場面もありました。

宣伝カーからは東京の団体と全国団体の代表が次つぎ訴えました。「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動」の計画が口々に紹介されました。

11時2分戦争法案廃案を沈黙の中に決意

宣伝の中、11時2分の長崎被爆70年の時刻には、演説を中断し、戦争反対、戦争法案廃案、核廃絶の決意が沈黙の中に表わし、アピールしました。

「九条通り」サウンドパレード

京都市南区の実行委員会

京都市南区の「戦争法案の廃案めざす南区実行委員会」の呼びかけで、9日午後5時からサウンドパレードが行われました。パレードは、同区内のメインストリートであるかつての都大路の南端＝その名も「九条通り」を、西の端に位置する吉祥院病院横から、東端の少し手前、京都駅南側のイオンモールまでの約3.5キロメートル、約1時間のコースで行われました。解散地のイオンモール利用者には青年も多いコースでした。

同実行委員会の九条通りパレードは3回目、サウンドで盛り上げたのは初めてです。

参加した市民約100人は、口々に「戦争反対」「いのちを守れ」「9条壊すな」「憲法守れ」「戦争法案廃案」「安倍やめろ」などとコールし、プラカードを掲げアピールしました。沿道の商店や通行人、途中の近鉄東寺駅利用者などに訴えました。通行人からは、手をふるなど盛んな声援を受ける場面もありました。

参加者からは、「暑かったがやってよかった。市民の不安がよくわかる」、「いっしょに歩いてく

れそうな人が何人もいた」、「これほど町の人たちと溶け込むと感じたのは初めて」、「注目は半端ではなかった」などの感想が寄せられました。

「南区1000人アピール」には1350人が賛同

「戦争法案の廃案めざす南区実行委員会」（京都市南区）は「南区 1000 人アピール」を出し、8月5日を締め切りに賛同者を募りました。取り組みには1353人が賛同、チラシ作成と新聞折込のためのワンコインカンパは30万円以上が寄せられています。

賛同者の氏名を連ねたチラシは、8月16日付の南区内の京都新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞に折り込まれます。

同実行委員会のアピールは「憲法違反の『戦争法案』を阻止しよう 安倍内閣は、戦争法案を強引に成立させるために、国会を延長しました。国会の審議で憲法違反と指摘され、世論論調でも多くが『違憲』『今国会での成立反対』と結果がでています。戦争法案は廃案に！日本を海外で戦争する国にするな！と、さらに世論を大きく広げて、なんとしても廃案に追い込みましょう。」というものです。

呼びかけ人は、同区在住や勤務地としている一飯田鉄夫・飯田医院院長、清洲早紀・吉祥院病院院長、黒川美富子・文理閣代表者、澤野義一・大阪経済法科大学教授、月下星志・日本キリスト教団上鳥羽教会牧師、西和代・あらぐさ保育園園長、菱田國昭・上鳥羽ディサービスセンター所長、山本昭郎・久世診療所所長、山本勇治・九条診療所所長—の各氏です。

共産党地域支部が大奮闘 賛同者 280 人

アピール賛同運動には民主団体・市民団体や労働組合、女性団体、業者団体が積極的に取り組んでいます。そのなかに、日本共産党の地域支部の一つである唐橋支部もあります。

唐橋支部は、「戦争法案阻止の運動にも全力をあげよう」と、手分けして署名やハンドマイクによる宣伝行動をすすめています。

アピール賛同運動では、当初50人を目標にしましたが、賛同は共産党の支部内外に次つぎ広がりました。そして目標はたちまち突破。締め切り時点では280人となりました。賛同募金も5万円をこえました。

取り組みのなかでは「何かせんならんと思っていたが、これはいい」「戦争は絶対あかん、こういう呼びかけを待っていた」という歓迎の声が多くありました。